

Eastspring Asia Now

Vol.14 インドネシアの2018年国家予算案

前提となる来年の経済成長については楽観的な見方、税収増が当面の課題

- ▶ インドネシア政府は8月16日に、2018年の国家予算案を国会に提出しました。同予算案では格差の是正を重視しており、来年の実質国内総生産(GDP)成長率については5.4%に加速すると想定しています。好調な消費の継続や投資の増加、貿易収支の改善等で成長率は達成できると見込んでいます。
- ▶ 2018年の歳出は2,204兆ルピア(約18.1兆円)と2017年の補正予算(7月27日に国会で可決)に比べて+3.3%に抑制しつつ、社会保障や教育・保険サービス支出を強化し、貧困や所得格差の是正に意欲を見せた内容となっています。

<予算案とその前提となる経済指標の抜粋>

	2016年	2017年 (補正予算)	2018年 (予算案)
GDP成長率	5.0%	5.2%	5.4%
インフレ率	3.0%	4.3%	3.5%
歳出(兆ルピア)	1,860	2,133	2,204
税収(兆ルピア)	1,284	1,473	1,609
財政赤字 (対GDP比率)	-2.46%	-2.92%	-2.19%

- ▶ 一方で、税収目標については、経済成長の加速が緩慢な中で、やや強気な試算となっているようです。ただし、2016年7月から2017年3月にかけて実施された租税恩赦*により、納税者のデータベースが拡充されたことから、2018年は納税者の増加による税収の改善が期待されます。さらに政府は税務コンプライアンスの強化、課税ベースの拡大、ITシステムの強化など、制度面から税収増に注力する姿勢を示しています。
- ▶ 2018年予算案では、インフラ支出は補正予算比+5.7%の409兆ルピア(約3.4兆円)となっています。政府は引き続き国内全体の輸送の改善や電気、水道、住宅、衛生環境の整備などのインフラ支出にも重点を置いています。

大統領は就任3年目の政策として格差是正に重点。市場では現実的な予算案と評価

- ▶ ジョコ・ウィドド大統領は2018年予算提出日と同日に、首都ジャカルタの国会議事堂で施政方針演説を行い、経済政策では格差是正に重点を置いていると強調しました。地方に住む国民の生活改善のため、地方および村落振興予算の増額や道路整備、かんがい設備の改善、電力普及に取り組むとしています。
- ▶ また、インフレ率の低位安定や消費意欲の継続のために、低所得者層に対する電気、燃料、食料などの補助金の配分を高めるだけでなく、これらの支出がより有効に活用されるように透明性の高いデータベースの確立と支給プログラムの改善を目指すとして述べています。

インドネシアは「バイクタクシー」が主流?



インドネシアの都市部では大渋滞が社会問題となっています。こうした中、スマートフォン用のバイクタクシー配車アプリが急速に普及しています。

なかでも地元企業が運営する「GO-JEK」(インドネシア語でバイクタクシーを意味するOjekとGoの造語)は、特に人気があります。このアプリは配車だけでなく、宅配便、出前サービス、買い物代行などさまざまなサービスの利用が可能です。

また、働き手にとっても雇用増や収入増の機会となっており、同社の運転手の登録数は20万人以上といわれています。

*租税恩赦(タククス・アムネスティ)とは・・・資産や所得を過去正しく申告していなかった納税者が自主的に開示・申告を行った場合、本来ならば課税される加算税や刑事罰を減免する制度。今回の措置は2017年3月末までに海外の未申告の資産を自発的に報告したり、本国に引き揚げたりすれば、税を減免し、刑事罰なども科さないというもの。

出所:インドネシア政府、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。 *100ルピア=0.82円で換算。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。